

1 施策の全体像

5年間の小牧山全体のスケジュール

- ・プロジェクト発足による推進体制の確立
- ・小牧山城史跡情報館オープンに向けた準備

P

- ・小牧山城史跡情報館オープン
- ・小牧山城史跡情報館オープンと各事業

C A P

目指す姿	指標	施策	方向性	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
観光拠点としての更なる活用	●観光ボランティアガイドの年間利用者数	小牧山城史跡情報館の開設に向けた史跡ガイダンスの充実など	【目標・目的】 ・小牧市への来訪者のニーズに合ったガイドが行える。 ・小牧山城史跡情報館にガイドが常駐し、小牧山の歴史や自然などの案内が行える。 【事業・手段】 ・観光ボランティアガイドの充実(増員・レベル・コース) ・小牧山城史跡情報館案内ガイドの養成と体制の確立	・観光サポーター養成講座開催	・研鑽講習・現地研修の実施(隔年実施) ・小牧山城史跡情報館常駐ガイドの養成・案内や申し込みなどの実施体制の確立	・実施	・研鑽講習・現地研修の実施(隔年実施)	
	【目標値】 2,000人 【平成30年度実績】 1,756人		【目標・目的】 ・来訪者に小牧山の魅力を十分に伝えることができる。 【事業・手段】 ・案内看板など史跡ガイダンスの手法を確立し体制を整える		・効果的なガイダンス手法(例:案内看板・ARの導入)の検討・スケジュール作成・必要に応じ予算化	・効果的なガイダンス手法のうち可能なものから実施	・ガイダンスの実施	
	●観光ボランティアガイドの人数	小牧山城史跡情報館を軸とした観光スポットとしての必要な機能整備など	【目標・目的】 ・小牧山城史跡情報館に観光地として必要な機能が整備されている。 【事業・手段】 ・小牧山観光誘客推進プロジェクトメンバーによる必要な機能の洗い出しと整備		・小牧市歴史館にWi-Fi設置 ・必要な機能を洗い出す	・関係各課と機能整備に向けた調整・検討を行う(ガイダンスの充実と連動)	・機能整備施工	
	【目標値】 60人 【平成30年度実績】 20人	ツアーの商品開発とプロモーションなど	【目標・目的】 ・小牧市及び小牧山を、より多くの人に知ってもらい、来訪してもらおう。 【事業・手段】 ・商談会への参加などの誘客活動を行う ・ツアー商品を開発する ・誘客に向けた魅力の発信活動を行う	・小牧観光めぐりツアーの実施 ・商談会参加	・商談会参加などのプロモーションの実施(随時) ・小牧観光めぐりツアーの実施 ・パンフレットの作成 ・新たな観光コースの検討 ・効果的な魅力発信の検討	・モニターツアーの実施 ・プロモーション実施	・ツアーの実施	
	●小牧市歴史館の年間来館者数	小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催など	【目標・目的】 ・小牧山の歴史やロケーションなどの魅力の効果的なプロモーションとその手段としてのイベントを一体的に行う。 【事業・手段】 ・小牧山の魅力を発信できるプロモーションとイベントの検討と実施	・小牧山を会場とした各種イベントの実施(例)小牧山さくらまつり、こまき信長夢夜会	・プロモーション及びイベントの実施・検討	・プロモーション及びイベントの実施		
	【目標値】 100,000人 【平成30年度実績】 59,517人	広域連携によるコース造成など	【目標・目的】 ・他都市と連携した旅行商品を造成することで、「広域観光」を発信し、小牧山の魅力と集客力を高め、誘客を行う。 【事業・手段】 ・スタンプラリーの実施 ・犬山城を含むツアー造成	・日本遺産申請 ・スタンプラリーの実施(信長公居城連携協議会) ・尾張広域観光協議会開催	・スタンプラリーの実施(信長公居城連携協議会) ・犬山城との連携についての検討	・犬山城とツアー造成		
		小牧山周辺の街並み整備など	【目標・目的】 ・小牧山周辺に、観光地としての雰囲気をつくる。 【事業・手段】 ・小牧駅から小牧山への導線を充実させる			・必要な事業・整備の洗い出し	・関係各課と検討	

C A P

・小牧山城史跡情報館オープンにあわせて実施した各事業の評価とその改善策を検討、次年度以降の計画を練る

2 平成 30 年度の総括と次年度の事業計画

小牧山を核とした誘客により観光資源をつなぎ・伝える

今年度は、イベントに頼らない一年を通して安定した交流人口の増加を目指すための、新たな観光誘客の手法として「小牧山春のキャンペーン」を実施し、改めて「小牧山」の魅力を発信しながら、周辺・同時期のイベントの包括的な観光プロモーションを展開しました。

また、小牧山観光誘客推進プロジェクトにて確認された方針のもと、具体的なおもてなしの方策の検討を進め、「小牧山城史跡情報館プロモーション事業」や、「小牧山おもてなしアプリ (AR) 事業」の予算化を進めるなど、小牧山を核とした観光誘客に努めました。



●評価指標の実績

	基準値 (H28 年)	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	目標値 (H32)
観光ボランティアガイドの年間利用者数	668 人	994 人	1,756 人		2,000 人
観光ボランティアガイドの人数 (年度)	21 人	20 人	20 人		60 人
小牧市歴史館の年間来館者数	77,453 人	60,982 人	59,517 人		100,000 人

●平成 31 年度の主な事業計画

小牧山城史跡情報館プロモーション事業

ねらい

小牧山城史跡情報館のオープンを記念し、広く効果的に PR することにより、新たな施設の集客力を活用し、観光誘客を行いながら、小牧山の魅力の強化に繋げる。

具体的な内容

のぼりやポスターによる発信を行うほか、クイズや織田信長築城時の小牧山図などを活用し、小牧山の歴史的な価値や魅力を、来訪者に届けられるようにする。

小牧山おもてなしアプリ (AR) 事業

ねらい

来訪者への“おもてなし”として、また、一面的な発信方法では伝えきれない小牧山の魅力を発信する手法のひとつとして、来訪者がその場で気軽に楽しめる仕掛けを設置する。

具体的な内容

小牧山で、「こまき山」などのキャラクターと記念撮影ができるフォトスポットの設置や小牧山の歴史に関する情報を表示するサービスを提供するスマートフォンを利用した AR アプリを構築する。

3 平成 30 年度の主な取り組み

●小牧山春のキャンペーンの実施

計画書における位置付け・事業の趣旨

スタートアップ事業「小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催など」及び「ツアーの商品開発とプロモーションなど」に紐づく、「小牧山のさくら」を核に周辺・同時期の観光資源を包括的にプロモーションするもの。

概要

小牧山及びその周辺における春の観光スポット・イベント・グルメなどの情報を A3 のチラシにまとめて発信する。

期間

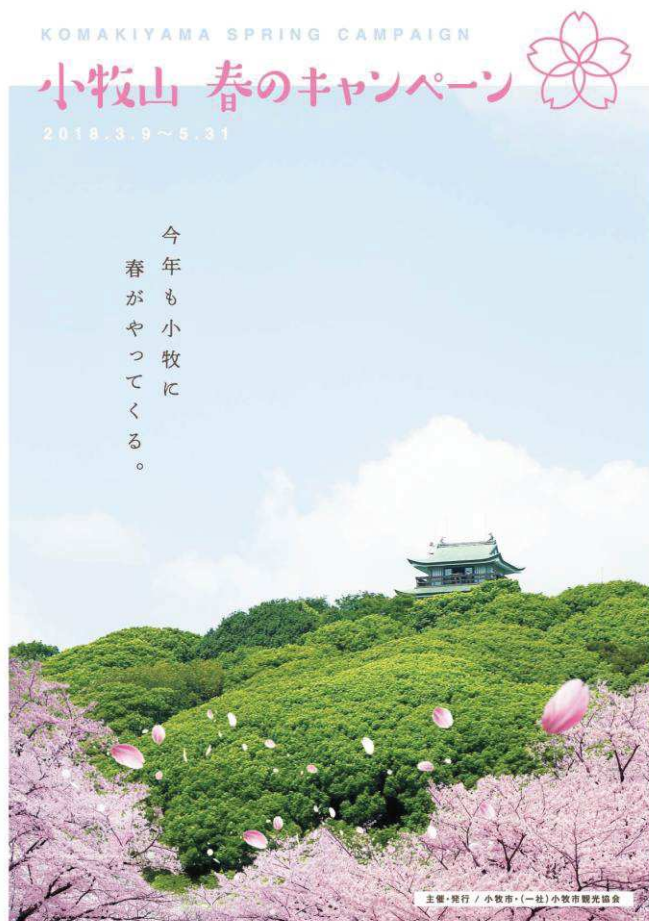
平成30年3月9日(金)～5月31日(木)

配布部数

25. 000 部

主な配布先

- ・ 市内宿泊施設
- ・ 小牧駅
- ・ 市内量販店
- ・ 小牧商工会議所など関係団体
- ・ チラシへの情報掲載店・団体
- ・ 市の施設(待合室やパンフレットラックがある又は市外からの来訪が見込める施設)
- ・ 名古屋市北区名鉄小牧線沿線中日新聞購読者(折込広告)





3 平成 30 年度の主な取り組み

●Komakiyama ガイドブックの配布

計画書における位置付け・事業の趣旨

スタートアップ事業「ツアーの商品開発とプロモーションなど」に紐づく、小牧山の魅力を盛り込んだ、小牧市の観光の楽しみ方をプロモーションするもの。

概要

平成 29 年度末に作成した、「KomakiyamaGuidebook」を広く配布し、情報発信する。

作成部数

30,000 部

配布先 ※一部省略



関係機関の窓口	
小牧市役所シティプロモーション課	小牧駅前観光案内所
名鉄小牧駅	近隣(半径 50 km 圏内)の観光案内所・道の駅
小牧市歴史館	豊川市観光協会
小牧商工会議所	安土駅前観光案内所
一宮商工会議所	愛知県図書館総務課企画グループ
県営名古屋空港	中部国際空港セントレア
あいち航空ミュージアム	刈谷ハイウェイオアシス
市内宿泊施設	
名鉄小牧ホテル	小牧シティホテル
キャッスルイン小牧	ルートイングランディア小牧
市内飲食店・観光施設など	
メナード美術館	ほていや
愛知文教大学	レストランベニーニ
カリモク家(株)小牧営業所	PARADISE CAFE MODERNS
龍音寺	合掌レストラン大蔵
田縣神社	Chez Chouchou
アピタ小牧店	キッチン天の川
御菓子所 武野屋	くだもの専門店 ヤオカネ
あびす屋商店	ノエル・ド・ティオ
藤屋	—
会議・イベント・その他	
愛知県商工会議所専務会	名鉄ハイキング
(一社)愛知県観光協会総会 PR ブース	名古屋城本丸御殿応援ブース
愛知県観光ガイドの会総会	刈谷ハイウェイオアシス観光展((一社)愛知県観光協会)
小牧商工会議所地域交流会	全国高等学校総合体育大会女子バスケットボール競技大会
愛知県デスティネーションキャンペーン周遊バス	ディスカバー愛知フェア
愛知県デスティネーションキャンペーンラッピング列車	こまき信長夢夜会
JA 高蔵寺地区女性会	小牧市民まつり楽市楽座



3 平成 30 年度の主な取り組み

会議・イベント・その他	
ポートメッセ名古屋異業種交流会	あいち城郭サミット
JAF デー in 明治村地元おすすめ即売会	歩こう文化の道(名古屋市役所)
サムライニンジャフェスティバル 2018	第 10 回愛知県観光交流サミット in いなざわ
山城へ行こう!2018	愛西市観光協会役員視察
お城 EXPO 2018	愛知県立小牧特別支援学校

●信長公居城連携協議会

計画書における位置付け・事業の趣旨

スタートアップ事業「小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催など」に紐づく、小牧山の“織田信長の居城”という特性を活かした活動を行うもの。

概要

戦国武将「織田信長」が城を構えた地である、清須市、小牧市、岐阜市、近江八幡市の 4 市にて協議会を構成し、織田信長の歩みを現代において体感できる広域連携の手法を確立し、共同 P R を行うなど、観光振興を図るもの。

◎スタンプラリー実施

加盟 4 市の城跡を巡る、協議会が発足した平成 22 年度から毎年行われている事業。

4 箇所全てのスタンプを集め応募をすると、抽選で各市の景品・特産品が当たる。

期間

平成 30 年 4 月 28 日(土)～平成 31 年 1 月 27 日(日)

参加者

376 人



小牧市景品(ノエル・ド・ティオ)
桃の完熟ゼリー(6 個入り)

◎お城 EXPO2018 参加

お城 EXPO 概要

城郭文化の振興と発展、“城好き”の交流を目的に、平成 29 年から開催されているイベント。「城」に関する最新研究発表から、展示、城めぐりの観光情報発信などを実施するもの。

場所

神奈川県横浜市パシフィコ横浜会議センター

期間

平成 30 年 12 月 22 日(土)

～12 月 24 日(月・振休)

居城連携協議会参加概要

「城めぐり観光情報ゾーン」出展でのクイズイベント実施のほか、イベントブース出演やシアター映像放映を通して、加盟 4 市の城及び城めぐりを P R した。





3 平成 30 年度の主な取り組み

●小牧観光ボランティアガイド講座の実施

計画書における位置付け・事業の趣旨

スタートアップ事業「小牧山城史跡情報館の開設に向けた史跡ガイダンスの充実など」に紐づく、現在主に小牧山で行っている観光ボランティアガイド事業の強化を図るもの。

概要

現地研修も交えた全 2 回の講座を実施し、ガイドの養成とスキルアップを図る。

主催者

(一社)小牧市観光協会

申込・参加者

以下「参加人数」のとおり。※()内は参加人数に占める現小牧観光ボランティアガイドの人数。

講座

	日時	場所	参加人数	概要
1	11 月 28 日 (水) 8 時 30 分～17 時	豊明市 (沓掛城) (桶狭間古戦場) 名古屋市 (桶狭間古戦場)	17 名 (8 名)	「桶狭間古戦場見学」 豊明桶狭間ガイドボランティアの案内による、古戦場見学と意見交換
2	2 月 5 日 (火) 14 時～15 時 30 分	小牧駅前 観光案内所	10 名 (8 名)	「“ボランティアガイドの今日的課題検討委員会の まとめ”について」 愛知県観光協会課長 あいち観光ボランティアガイドの会事務局 川井 政輝 氏





3 平成 30 年度の主な取り組み

●小牧山を活用した様々なイベントの企画・実施

計画書における位置付け・事業の趣旨

スタートアップ事業「小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催など」に紐づく、小牧山の活用を推進するもの。

一覧

(小牧市歴史館自主事業・企画展及び「小牧山利用届」より/※については主催者発表による数値)

日付	代表者	人数(約)	概要
3月24日(土) ～ 4月10日(火)	小牧市 (シティプロモーション課) (一社)小牧市観光協会	98,784 ※	【小牧山さくらまつり】 小牧山に咲き誇る桜とロケーションを活かした各種イベントの実施 (3/24～4/10) ・ボンボリ、灯籠、スポットライトによるライトアップ ・桜の馬場、山北緑地での火気使用(BBQ)許可 (4/7・8) ・野点 ・児童写生大会 ・さくらまつりで Instaglam (3/30・4/1・7・8) ・小牧市歴史館の入館時間の延長及び無料開放 
4月20日(金) ～ 5月16日(水)	小牧市歴史館 【企画展】	—	「端午の節句」というテーマで、各家庭で大切にされてきた昭和の頃の五月人形を中心に展示。
4月21日(土)	小牧市 (スポーツ推進課)	60	【ノルディックウォーク講習会】 ノルディックポールを利用した小牧山の散策
4月22日(日)	小牧市歴史館 【自主事業】	60 ※	甲冑試着会
4月29日(日・祝)	小牧市歴史館 【自主事業】	175 ※	小牧山城本丸跡茶会
4月30日(月・振休)	小牧市 (一財)こまき市民文化財団	300	【あつまれ!小牧あそび城】 史跡公園や青年の家で、伝統的な遊びやレクリエーションゲームを開催
5月4日(金・祝) ～ 5月5日(土・祝)	小牧スカウト連盟協議会	600	【第14回親子ラリー】 ロープのはしご渡りや自然の材料を使ったクラフト、野外料理などを実施



3 平成 30 年度の主な取り組み

日付	代表者	人数(約)	概要
5月5日(土・祝)	小牧市歴史館 【自主事業】	72 ※	甲冑試着会
5月15日(火)	pot 企画	500	【第1回こまきやまてづくり市】 小牧市民のシンボル・憩いの場として親しまれている小牧山を活用し、平日の昼間に子どもを連れて楽しめるマルシェイベントを開催。
5月27日(日)	小牧自然歴史の会	500	【小牧山陸のホタル・ヤマナメクジ観察会】 小牧山でホタルなどの観察とともに各種イベントを実施(イベント) ・詩吟 ・おどり ・ホタルとかぐや姫絵巻 ・講演 ・ホタルキャンドルライトイルミネーション
7月20日(金) ～ 9月17日(月・祝)	小牧市歴史館 【ジュニア企画パネル展】	—	「小牧山で出会った昆虫たち」というテーマでパネルを展示。
8月4日(土) ～ 9月9日(日) の土日	小牧市歴史館	—	【宵の歴史館】 開館時間を通常の16時30分までから延長し、20時まで開館するとともに、中学生以下の入館料を無料として、夕涼みのひと時と夜景の眺望を楽しんでもらう
8月12日(日)	(一財) こまき市民文化財団	30	【小牧市・こども夢チャレンジ事業】 小牧市・こども夢チャレンジ事業として、竹を割って流しそうめん大会やペットボトルロケットの発射実験を実施。
8月31日(金)	(小牧市歴史館) 【自主事業】	—	「小牧山の昆虫を探してみよう」というテーマで昆虫観察会を開催。
9月2日(日)	小牧自然歴史の会	500	【白玉星草祭り】 伊勢神宮及び信長公ゆかりの植物鑑賞会とともに各種イベントを実施(イベント) ・尺八同好会 ・詩吟 ・白玉干草踊り ・大正琴同好会 ・キャンドルライトイルミネーション
9月15日(土)	小牧市 (シティプロモーション課 ・生涯学習課)	5,000 ※	【こまき信長夢夜会(同日開催小牧山薪能)】※雨天のため薪能は市民会館で開催 中秋の名月のもと、野外で伝統芸能に親しむ「小牧山薪能」と“信長の過ごした秋の一夜を再現”をコンセプトに各種イベントを実施する「こまき信長夢夜会」を同日開催(イベント) ・信長茶寮(コンセプトに沿った飲食店の出店) ・フラワーパフォーマンス ・ワイン講座 ・JAZZ 演奏 ・フラメンコ ・野点 ・会場のライトアップ





3 平成 30 年度の主な取り組み

日付	代表者	人数(約)	概要
9 月 23 日(日・祝)	(一社)小牧青年会議所	500 人	【ワールドミュージック 2018】 音楽を通じて国際交流を深めよう!をテーマに、各国の音楽パフォーマンスから、マルシェ、ダンボール迷路などのレクリエーションを開催
10 月 6 日(土)	小牧市 (スポーツ推進課)	60	【ノルディックウォーク講習会】 ノルディックポールを利用した小牧山の散策
10 月 20 日(土) ～ 10 月 21 日(日)	小牧市 (シティプロモーション課)	200,000 ※	【小牧市民まつり】 ふれあいの輪を広げようをコンセプトに実施する、市最大のイベントにおける会場の1つとして、各種イベントを実施 (イベント) ・楽市楽座 …各都市の物産販売 ・駒来ぶらり市 …飲食コーナー ・げんき村 …子ども達が体を使って遊べるコーナー ・パフォーマンスステージ(和太鼓演奏 ほか) ・小牧市歴史館無料開放 ・オリエンテーリング ほか  
11 月 3 日(土・祝)	小牧市歴史館 【自主事業】	186 ※	小牧山城本丸跡茶会
11 月 8 日(木)	pot 企画	500	【第 2 回こまきやまてづくり市】 小牧市民のシンボル・憩いの場として親しまれている小牧山を活用し、平日の昼間に子どもを連れて楽しめるマルシェイベントを開催。
11 月 11 日(日)	小牧市歴史館 【自主事業】	60 ※	甲冑試着会
11 月 16 日(金) ～ 12 月 28 日(金)	小牧市歴史館 【企画展】	—	「小牧市歴史館開館 50 年・小牧市と人々の歩みと変遷」というテーマで、歴史館誕生 50 周年を記念して、小牧市の歩みと変遷を振り返る、当時の写真を展示。
11 月 25 日(日)	小牧市歴史館 【自主事業】	56 ※	甲冑試着会



3 平成 30 年度の主な取り組み

●＜小牧山＞＜航空宇宙産業＞FDA 機内誌掲載

計画書における位置付け・事業の趣旨

スタートアップ事業「ツアーの商品開発とプロモーションなど（小牧山）」及び「航空宇宙産業のまちとしてのイメージ・プロモーション」に紐づく、“小牧山”及び“航空と小牧”のプロモーションを行うもの。

概要

県営名古屋空港へ就航する唯一の民間定期路線フジドリームエアラインズ(FDA)の機内誌へ記事を掲載し、「窓の外を見よ!あれが小牧山城だ!!」として、小牧山城及び史跡情報館オープンをPRするとともに、“飛行機は小牧市の上空を飛んでいる”ことを印象付ける発信を行った。

掲載時期

平成 30 年 10 月末発行

(機内設置期間: 平成 30 年 10 月 28 日～平成 31 年 3 月 23 日)

機内誌概要

A4 サイズ・68 ページ以上・フルカラー・発行部数 30,000 部

掲載サイズ

A4 サイズ中面見開き 2 ページ





4 事例紹介

小牧山発掘作業員

遺構を掘り出し、思いに触れ、
未来へつなぐ作業をしています。



主な活動

どんなに広い現場でも、発掘作業で遺構を傷つけないためには、人の手による掘削が必要です。

発掘作業員は、土を、スコップやクワを駆使して掘り一輪車で運ぶ、土木作業のようなことから、竹串・竹箆や荒神簀・ブラシではぐように取り除く、繊細な工程も行います。

小牧山で発掘した遺構は、全ての調査と記録が終わると、埋め戻し作業を行います。これは、遺構を風雨による劣化から守る、将来のための大切な保護処置なのですが、それより、「見えなくなる」ことを残念に思う人は少なくありません。

そんななか小牧山の発掘現場では、埋め戻す前の様子をできるだけ多くの人へ届け

るため、「見せる発掘」として見学しやすい高さの安全フェンスを設置したり、公式 facebook を開設して作業状況を発信するなどの工夫をしています。また時には“石垣同好会”として、作業員の有志で、イベントでの発掘成果報告を行うこともあります。



発掘作業員 平手 卓 さん



作業をしながら、石垣の石の形・出土した位置を記録していましたが、作業が終了すると遺跡保存のため埋め戻され、視界から消えてしまいます。

一念発起して、小牧山城築城に込められた先人の技術の素晴らしさを、より多くの人に知ってもらえたらと思い、模型作りをはじめました。

小牧山城の石垣模型

「れきしるこまき」小牧山城史跡情報館では、小牧山城の石垣の模型を見ることができます。

発掘作業員の平手さんが作成したこの模型は、石垣の内側の構造まで作り込んであり、見る人に、築城当時の技術の素晴らしさや現場の様子を伝えてくれます。

